

2009

SINCE 1983

冬



NETWORK VOL.133

TERRA

夢の学校をつくる会



(書・富永将暉)



新年明けましておめでとうございます

今年も無事新しい年を迎えられた事をうれしく思います。

おかげさまで、夢の学校をつくる会も4回目のお正月を迎えることが出来ました。「土ようタマテ箱」(週末プログラム)に始まり、2年後に立ち上げた「夢の学校タマテ箱」(平日プログラム)も今年で4年目に入ります。「土ようタマテ箱」の時から、どれだけ多くの方々を支えられてきた事が改めて感謝する次第です。

ここでは、表紙の「学」という文字の意味を細解き、夢の学校をつくる会が目指す役割をつづりながら新年のごあいさつとこえさせていただきます。タマテ箱では「書」を学ぶ時間があります。上の文字は、その「おかしら」である富永将暉氏が書かれたものです。「𠄎」は自分以外の手と手が交わる。「𠄎」は建物の中だけでなく、山、川、地域など、今自分がいる場所そのものが学ぶ所であるという意味があります。また、「𠄎」は子どもを含む人々で老若男女を問わず学問を志す全ての人を表しています。

夢の学校をつくる会では、多くの方々(地域、海外、各分野の専門家)に「おかしら」として関わっていただき、様々な体験や経験を通して技術だけでなく、人としての「心」を学ばせていただきながら活動をしています。「学」はまさに夢の学校をつくる会の活動そのものを表しているのかもしれませんが、子ども達は今はまだ、目には見えないものの価値は良く分からないかもしれません。しかし、いつかきっと、見えないからこそ素晴らしいものであるということに気づく時が来ると信じています。その時のために、私達は、創始者古賀武夫が残してくれた財産“人”達と、これから出会う“人”達と共に、「学」びながら、大きな可能性を持っている子ども達の成長を見守っていきたいと思います。今年も宜しくお願いいたします。

CONTENTS ■ 2009 冬

古賀武夫永久名誉会長の言葉を辿る
「志と品格—光り輝いて生きる—(1)」

大野 博之 2

■地球市民の会

和顔愛語 佐藤 昭二 3

新年特別企画 事務局通信
暴露劇場「事務局の秘密」 4~5

ミャンマー通信 佐藤亮子・畑 恵子 6

タイ奨学金便り 西村 尚子 7

佐賀県協力隊を育てる会設立総会報告
さが国際交流・協力フェスタに参加報告 8

青年海外協力隊支援報告 9

■夢の学校をつくる会

夢いっぱいタマテ箱 10

夢の学校への思い 草場 栄美
私の考える教育とは? 井上 英史 11

■古賀英語・空手道場

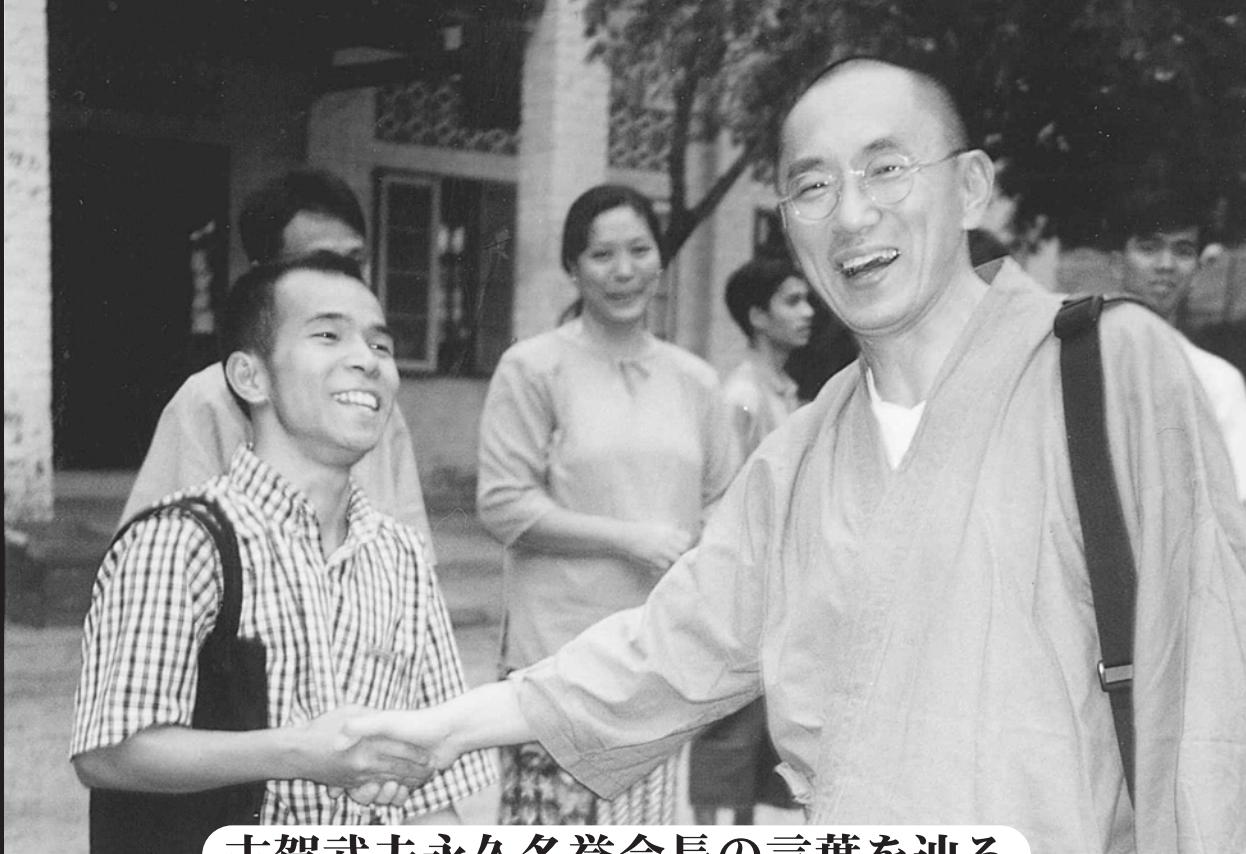
いのちのまつりのように 櫻井 愛子 12

■共同執筆

協力者一覧 13

1~3月のお知らせ
スタッフのひとこと「今年こそ」
事務所住所 14

世界の平和と親善 地域社会の向上発展



古賀武夫永久名誉会長の言葉を辿る

志と品格 - 光り輝いて生きる - (1) 『平成11年(1999年)8月』

大野 博之

今号よりしばらく古賀武夫ブックレット第2号『志と品格 - 光り輝いて生きる - 』より、古賀先生の言葉を辿ることにします。

平成11年8月、これは古賀先生にとって大きな人生のターニングポイントとなります。肝臓の宣告のあったときでした。

腫瘍が発見され、精密検査を実施するために8月12日に入院しますが、その2日前にネットワークテラ8月号の原稿を書き上げます。この時点ではまだ自分が癌かどうかわかっていないときでした。原稿の中で古賀先生がお会いした人物のことを記述しています。

「俺は癌の大手術で命を永らえ、心を入れ替え、ボランティアで世の中のためになることに決めた。この一年、無給で、みんなのために命がけで頑張ってきた。俺一人にやらせるな、このプロジェクトは、みんなの問題じゃないか。みんなも頑張るんだ。俺を殺しちゃいかんぞ!」とその人は言ったそうです。確かにその人は世界的なことをやっている。しかし古賀先生は「それはその人の価値観。その人にはいいのちをかけるだけの価値があっても、他の人には無いことが多い」「また善魔を見つけた思いである」

『善魔』はこの当時古賀先生が良く使われていた言葉です。『善魔』とは何でしょうか?

「善魔に比べると悪魔はまだ可愛いものよ。悪魔は悪いことをして人を困らせようとしているのだ。つまり悪いことをしている自覚がある。ところが善魔はその人にはいいことをしているようで本当は困らせている。自覚が無いだけタチが悪い。ところが、善魔は悪魔よりずっとたくさんいる。例えば勉強を子どもに強要する親。自分は子どものためだと思って『勉強しなさい』と嫌がる子どもに無理やり勉強させる。子どもは楽しくないから勉強を嫌いになっていく。これは親の我欲だな。子どもがたくさん勉強して、そして子どもにいい成績をとって欲しいのは親の欲だということを判っていないんだな。」「他にもある。いらぬお節介を焼く奴がいるだろう。あなたのために、とか言ってね、自分の価値観を押し付ける人。これも善魔。」「本人

がいいことをしていると思いながら、本当は悪魔のようなことをやっている人、それが善魔だ。そして、善魔はどんな人の心の中でも頭をもたげる。自分が『善魔』になっていないか、いつも、気をつけなければならない」古賀先生はそう説明されていました。

古賀先生は「反省は勉強だ」と良くおっしゃっていました。何かをするから反省がある。何もしない者には反省がない。反省が無ければ学びが無いのだから、人間的な成長が無い。よって、反省は何かをやったという証拠であり、人間的成長への大きな勳章であるので、どんどんすべきだ、とおっしゃっていました。

ところが、大きな反省をご自身することになります。8月17日、肝臓の腫瘍が悪性、つまり癌だとわかった日のことです。

『第一ラウンド敗北宣言』

「小生、よくよく、この四十九年のわが半生を顧みるに、潔く、自己との戦い、人生の第一ラウンドの敗北を宣言し、家族友人知人各位に大罪を謝す」という一文と共に八項目の『大罪』を列挙し、それらの責任は自分の無明にあり、その責任はすべて自分自身にあること認め、第2ラウンドが与えられるならば「この因縁を問い、自己の心根を抜本的に改革し、幾許とも改善を図り、もって、第一ラウンドより以上の成果を」もたらしたいと文章を残しています。そして文末に3人の子どもに対して「わが失敗を繰り返すを欲せず。父を良き反面教師とし、大きく成長し、楽しく豊かな人生を歩んでくれることを心から切望する。」とメッセージを残しています。癌の宣告で非常に弱気になれていたのがわかります。

しかし「反省は勉強だ」と言われていたことは自ら実践されており、数日後から前向きに捉えられるようになられていました。8月31日付けの古賀英語道場内情報誌「I AM GENKI」99年9月号では「自分に起こることは、すべて自分のためになること、その試練を乗り越えたとき、また一回り大きく成長し、皆様のお役に立てる」と肝臓との闘病に対し、新たな心地で挑んでいく決意を伝えられました。(そして、次号癌手術へつづく)

和顔愛語

佐 藤 昭 二



● ● ● 神の算盤（そろばん）



アメリカのプライムローンに端を発し、私達は未だかつて体験したことのない経済危機に陥っている。それは日本だけでなく、アジア、いや世界各国が直面している大きな問題である。

これまでの経済の在り方が根底から問われ、まさしく収奪型経済の終焉であり、一極集中化の終わりであろう。

特に、私達日本の誤りは大きい。歴史に2600年も続いた豊葦原瑞穂の国（トヨアシハラミズホのクニ）が農業を捨て、工業一辺倒とし、わずか50年で日本の食糧自給率は40パーセントを切ってしまった。

昔から「農を捨てた国は必ず滅びる」と云われている。

今こそ私達は農業を中心とした国造りに励む時である。私達は農に戻るときが来た。その農とは収奪型農業ではなく、循環型の農業でなければならない。

亡くなられた前会長・古賀武夫氏とは、夜を徹してこの話を何度も何度も繰り返し話し合ったのを忘れることなく、いまでも鮮明に記憶している。その中から生まれたのが、今私達がテーマにしている「人間の持つべき文明」と言っても過言ではない。

循環型社会の基本は、小規模社会の建設である。しかし、人間は元来群れるのを習性とする動物である。それが為、常に集中化・巨大化を図ってしまう。

今では集中化→巨大化→規格化→機械化へと進み、エネルギーの消費が天文学的数値に達している。

この進む方向を変え、省エネに持ち込むには生態系の活用を行い、それが為には規格化ではなく、多様化でなければならない。多様化に持ち込む為には小規模、分散とすることが必要不可欠である。

現在の社会はとどまることなく、集中化、巨大化にひた走りに走り続けている。各銀行の合併、企業の合併・各市町村の合併と、どれをとっても集中化・巨大化へのひた走りである。

農業・工業・全てアメリカナイズされた生産であり、消費である。それが為、日本の伝統的「むら社会」が壊れてしまった。

同時に暗いニュースばかりが巷に流れている。

天意を思うとき、壊れた政治、経済、教育を始め、全てに対し、まさにご破産で願ひましては・・・であり、神が新しい算盤（そろばん）の珠を置く用意を始めたように思えてならない。

事務局はとても寒いのだあ～

現在の事務局は元ガレージに壁と屋根をつけたもの。床はなんとコンクリートに板を乗せただけです。冬の寒さと来たら、足元から「じん、じん、じん、じん！」。ストーブを焚いても足の方は冷たいまま。



今度は壁か？ダンボールを敷くUさん。



どこからか確保のマット。余裕の先輩事務局員H

そこで厳寒の事務局で健気に頑張る事務局員たちは自衛手段に出ました。事務局員Hはどこからか備品のマットを探し出してきて、自分の机の下に。2年遅れて入局の事務局員Uはマットが無いのでダンボールを切って足元に敷いています。(あなたはホームレスか！)普段は穏やかに過ごす事務局内も、そんなところで序列の差が！「あ～い、後輩にも優しくしてやってよあ」「部下にも優しくしてくださいよ、事務局長あ～」

過去、二度にわたって掲載された「じむきよくつうしん」。どんな企画ページよりも最大の好評を得ていたページを二年ぶりに大復活。今回のテーマは「健気さ」。はたして、会員の皆様に伝わるや否や！?



VOL.3

特集

暴露劇場「事務局の秘密」

眠るマッサージャー

事務局員の仕事はとっても地味で、いつもパソコンと睨めっこです。体に良くない電磁波バリバリです。だから、肩こりなどで体が固くなってしまいます。

そこで現れた救世主がマッサージャー！！TPAの団体会員・リコーさんの展示会でいただいたのです♪嬉しくて最初の2日間くらいは使ったのですが、仕事が忙しくてそれどころではなくなり、救世主の存在すら忘れてしまいがちに・・・。

そして今では、ロッカーの上で静かに座し、アフアフと仕事する事務局員の手に取りられる日を夢見て眠っているのです。

「マッサージできる余裕がほしいー！！」



マッサージャーの上にはグリコのおまけの猫が「ちょこん」と乗っています。

あっという間に無くなる差し入れ

事務局へのお菓子の差し入れをしていただく会員さんは結構いらっしゃいます。ちょっと近くまで来たから、とか旅行に行ってきたから、などちょっとした心遣いに感動の事務局員です。心優しい方々に包まれてなんとか事務局は頑張ることができています。ところがそれで甘やかされた事務局員はお菓子を見つけるのに目敏くなり、ちょっと油断をするとあっという間に差し入れはなくなってしまう。普段は分かち合う健気な私たちも「甘いものは話が違ふ。」

あっ、この文章、差し入れのお願いではないですから、気になさらないでください。「私はチョコが好きい～！」(某事務局員H)「おいおい」「私はチョコの付いたクッキー！」(某事務局員U)「あっ、私もあ～」(某事務局員H)「・・・だからあ～」

品の無いところをお見せしました・・・。



某日差し入れられた草餅とやぶれ饅頭



3分後の様子

さむ～い事務局にあったか「なベタイム」！

11月末から、私たちの職場でほぼ2週に1回、不思議な昼食会が行われています。その名も「今回は誰が作る！？みんなで食べるお昼ご飯」！お昼ごはんはそれぞれが適当に時間を見つけて食べていますが、某スタッフが「みんなで鍋でも食べたら楽しいね」と提案し、楽しい事好きの職員たちは即座に採用！というわけで、古賀道場、夢の学校をつくる会、地球市民の会の当番制で合同のお食事会をするという昼休みがあるのです。

昼食会費は毎回一人300円。そこで、この会費でどれだけ豪勢に見え、且つ満足出来るか！？に当番は毎回知恵を絞っています。ちなみに、1回目は素材の味を楽しむ鍋(地球市民の会事務局員H担当)、2回目はお母様レシビのおでん(古賀英語道場教師A担当)、3回目は鶏がらスープがおいしい鍋(夢の学校事務局員H担当)、そして4回目はお父さんが作るお好み焼き(古賀空手道場師範K担当)でした。まだ担当が回ってきていない私。いつ担当になるか、一人でヒヤヒヤしています。



おいしそうでしょ～、でもこの写真はイメージです。本当は…もっとおいしいですッ！

イタチとの共生

事務所の天井裏はイタチにとって住み心地が良いようで、追い払っても追い払っても住み着いてくれます。きっと彼らにもネットワークがあって「あそこはイイズ」と伝わっているのでしょう。まあイタチが居るだけならあまり問題ないのです。カワイイし。

しかし問題はイタチの習性。屋根裏に食べ物(ねずみなどの小動物)を溜め込み、そこでトイレをします。食べ物は腐敗し、何よりも尿の臭いは猫に比べられない強烈なものです。鼻のいい人なら間違いなく頭痛です。なので、天井に穴を空け、入ってきたらすぐに追っ払えるようにしています。要らなくなったポスターやカレンダーを貼って穴を防いでいます。イタチが外でトイレをし、食べ物は外食専門になってくれたらイタチとの共生も可能なのですが・・・。



天井に張られた紙。イタチ除け？紙はイタチのおしっこでところどころしみがありません。紙の下は事務局員Hの机です。

2008年 困ったこと、笑ったこと、辛かったこと、脱力したこと、怒ったこと!!

2008年もいろんな出来事がありました。

いいこと、嬉しいこと、感動したことはネットワークテラやホームページ、ブログですでお伝えしました。

今回は、あまり表に出ない困ったこと、笑ったこと、辛かったこと、脱力したこと、怒ったこと、などを事務局員ごとに発表しま～す。健気にがんばっていきましょう!

『勝率5割、財政難を救えるか!?!』

畑 恵子(ミャンマー担当。面白い物好きの女の仮面をかぶったオコジョ(♂))



事務局員の仕事は色々ありますが、その一つが助成金申請です。やりたい活動のためには資金が必要で、助成金は頼みの綱なデス!そして、私は恥ずかしくも「ゼニガメ」とこでは呼ばれていて、今年の勝率はなんと6勝6敗4引き分け、賞金総額(えっ?)約22,316,000円でした。※引き分けとは「判定待ち」です。『♪銭のためなら、女房も泣かすう〜♪』、それがどおした、文句があるかあ〜♪女春団治な私です。(って、「銭」でなくて「芸」でしたっけ!?)。目標は、助成金にそんなに頼らなくてもやっていけるようなTPAにすることです!



ゼニガメ 円マークとドルマークに囲まれ幸せそう!

『自転車を襲う雨』

内山 真理子(タイ、韓国担当。本年の大型新人、久々の地元採用!)



私がつらいと感じる瞬間。それは天気予報が雨を告げた時です。なぜなら、JR通勤の私は佐賀駅から自転車です。雨の日は駅からバスを使わなければならないのです。しかし、バスと電車の乗り継ぎがあまりうまくいっていないので、朝は時間のロスが大きく、またバスに乗ればバス代もかかるのもあって、多少の雨ならそのまま自転車で行き来してしまいます。けれども、雨で濡れた後は、身も心もさむ〜〜〜になって悲しくなってしまう。ましてや、今は冬。体の芯まで寒さが堪えます。風邪の季節にはご法度の行為ですネ。



雨の中をだだ走(ば)る内山嬢。(だだばる:佐賀弁。過二無二走るさま)

暴露コメント

彼女の口癖は「嫁が欲しい!」(。)。嫁に何をさせるのか?身の回りの世話をしたいようである。では、主夫になってくれるような男性と結婚して食べさせてあげたら、という言葉には「嫌ですよ」。つまるところ、自分が好きなことをするためにサポートしてくれる人ってこっです。

?

暴露コメント

初めての担当プログラムでは『意識不明』になりながら実施し、それで成長したようだ。プログラム中の出来事はいまだに良く覚えていないらしい。誠意ある謝り方は事務局随一で自己主張の強い事務局内では貴重な存在。こちらの不手際で怒らしてしまった方にも彼女が電話で謝ればとにかく許してくれるようだ。得がたいなあ。

?

『認定NPO見送り、国税局が決定』

大野 博之(アイデア成率5%事務局長、プロ野球ならファーム落ち)



古賀前会長がネットワークテラで大々的に認定NPOにすることを宣しました。しかし、国税局からはミャンマー事業のミャンマー送金分に関し会計処理として経費計上するのでは無く、財産として計上すべきであるので、今回の認定は見合わせなければならないとの指摘を受けました。認定を採るのはそれぐらい細かく管理しろということかとびっくりすると共に、今回の作業で地球市民の会の直すべきところが明らかになり良かったです。残念なのは古賀前会長が亡くなる前の悲願を達成できなかったことです。

しょんなカタイ。お前の給料分が損しただけ。また次、また次!



暴露コメント

家族もとても大切にしている事務局長。特に娘への愛情はとびっきり!“夢の学校”に娘を通わせているが、地球市民の会の事務所と場所が一緒なので、娘が帰る際に事務所でさよならをする。ところがその時の二人…その姿は熟々の恋人同士のように、正視しづらいものがある。「今まで付き合った女の中で一番わがまま」という彼。しかし、「でも今まで一番カワイイんでしょ?」と聞くと「…まあね。」とさ。ごちそうさま!!

?

『銀行要注意! マネーロンダリングか!?!』

相良 伸武(夢の学校からの助っ人経理マン。見た目はインテリヤクザだが慎重派)



去年4月から経理の一部を担当しています。夢の学校をつくる会の相良です。夢の学校でも経理担当なので地球市民の会の経理をやることを簡単に考えていましたが、仕分けが分からないなど未だに苦労をしています。最初に銀行にドルに換金に行った時など、丸坊主の風貌は少し疑われたらしく、本当に地球市民の会の職員がいると聞かれたのを覚えています。なぜか2度目に行った時は、えらく丁寧な対応でした。



相良さんが可愛がっているヘラクレスカブトムシ。たまに散歩に出て、棚の上にいるようです。

暴露コメント

野外教育のエキスパートとして成長中。サッカー命の彼はヘディングのしすぎで頭髪が減ったわけではない。お父様が佐賀県柔道協会会長であるが、反抗してサッカーをしているわけでもない。古賀会長存命中に良く見間違われたのは、頭髪の形と眼鏡が似ていたのであって、頭が尖っていたわけではない。居酒屋で悩みを聞いてくれるのはヘラクレスカブトムシでは、当然、ない。

?

『古切手の中に日本の歴史あり』

納富 ハヤ子(モノ言うボランティア、郵送作業や古切手整理などのスペシャリスト。雨が降ったら事務局に来ないので、忙しいときは事務局にはテルテル坊主がついているとか)



たくさん古切手が事務局に送られてきます。たかが、古切手と侮るなかれ、一年で16万円にもなるのです。その内訳は、古切手も買ってくれる業者さんの売上もありますが、大きいのは封筒やハガキに張っている未使用切手。ときたま古い記念切手の未使用のものも送っていただけです。高松塚西壁女子像の50+10円切手、香岐対馬国定公園の15円切手、天皇后両陛下御訪米記念の20円切手(1975年)などそんなこともあったなあ、と思っています。不思議なのは琉球郵便切手。なんと単位はセント! これを見つけたとき、どうやって入手したのかな? ずっと持っていたのかな? と想像が膨らみ愉しんでいます。



琉球郵便切手です。見たことありますか?

暴露コメント

元ホワイトエンジェル(ナース)だけあって、夜にはウォーキングをして健康に気遣っている。ウォーキングといってもただ歩くだけではなく、その途中に買い物などの用事を済ませる辺りはさすが!さすがといえるほどのこと。仕事帰りの事務局員Hが納富さんとばったり出くわしたとき、納富さんのその手に持っていたのはタイムサービスで割引された高級パン屋のパンだった!

?

『私の覚悟』

西村 尚子(タイ事業担当理事、イベント企画運営。スタンドグラスにはまっています!)



今年の秋から、西日本新聞に連載されている五木寛之の「親鸞」にはまっています。それに加えて、最新のエッセイ「人間の覚悟」を読み終えた所でした。今年の春、私にとって本当の恩師といえる古賀先生とお別れをして、その一週間後に父を亡くして、それはつらかったしきつかったです。地に足が着かない自分に大変困った。そして、やっと落ち着いたと思った頃に、6車線の道の真ん中に信号待ちしていたら、後からトラックに追突されました。これには、さすがに温厚な私も怒りました。そして、今は慣れない代車に四苦八苦し、信号待ちで何かのドンという音を聞く度にびくびくしながらも、著書「人間の覚悟」のなかにあるように、あきらめにも似たいわゆる“覚悟”をするしかない、と苦悶している今日この頃です。



私のホッカイロ。物心共に暖めてくれます。

暴露コメント

エレガントでセブな我ががアイドル。週3日事務局の仕事を手伝いにきてくれます(押し付けられてる?)。午前中は歯科医院の事務稼業。午後はTPAでのボランティアと忙しい中での時間のやりくりなので、もちろん遅くまではいられません。夕方になるといそいそと帰宅しますが、その次には主婦としての役割があるから…というのは表向きで、実は愛犬コロが待っているからなのです☆

?

パゴダの国から インターン通信

アーロン、ミンガラバー！（皆さん、こんにちは！）ミャンマープロジェクトでインターンをしている佐藤です。今年の7月にミャンマーに来て、約半年が経とうとしています。さて、私からは、今までの振り返って一番印象に残っている出来事についてお話したいと思います。

それは、タンボジセンターに赴任したばかりの頃のことです。近くにある水上パゴダに生徒と遊びに行く機会がありました。朝から舟に乗って出かけた訳ですが、舟の上でだんだん気持ちが悪くなったのです・・・どうやら、朝ごはんの揚げ物をたくさん食べ過ぎたようです。（今では、油に慣れてしまい油がないと物足りないくらいになってしまいましたが。笑）せっかく生徒と初めて遊びに来たのだからと、吐きたい気持ちを我慢しつつも、有名なパゴダの前で恥ずかしくもごろんと横たっていました（きっと生徒は情けない日本人だと思ったことでしょう）。そしてようやくセンターに戻ったと思ったら安堵のせいか、今までの人生でこれ以上ないというほど吐いてしまいました。。本当に苦しくて、これからタンボジで暮らしていけるのかと不安でいっぱいでした。

ところが、部屋でウーウーと呻きながら横になっていると、生徒たちがおかゆを持ってきたり、大丈夫かと心配してそろそろと見に来てくれるではないですか。日本でそんな待遇を受けたことがない私は、生徒の気遣いや優しさに大感激！夜も一緒に部屋で寝てくれる生徒もいて、なんとかこの先やっていけそうと思い直したのです。

こんな出来事で始まったタンボジ生活ですが、今でも現地の人、一緒に生活している先生や生徒の優しさに感動することが度々あります。日本でも少し前までは、お互いが助け合う姿が当たり前でしたよね。最近の日本は果たしてどうなのでしょう。日本もミャンマーに学ぶべきところはたくさんあるなぁと感じる今日この頃です。皆さんも、ぜひミャンマーという国を訪れてみて下さい。

私は残りの任期も畑仕事に精を出しつつ、一日一日を大切に過ごしますね。皆さんもお体にお気をつけて！

2008年12月

佐藤 亮子



笑顔で船に乗る佐藤さん。

（実は気持ち悪いのを我慢している・・・？）

ミャンマー担当のつ・ぶ・や・き。

みなさん、こんにちは！国内事務所のミャンマー担当・畑です。この「つぶやき」は約1年ぶりでしょうか・・・。今回は、この場を借りて御礼とご報告をさせていただきたいと思います。

私たちは昨夏より『ミャンマー教育基金』という募金活動をしており、これは「ミャンマーの子どもたちのために」という目的で、主に教育環境改善に使用させていただきます。約1年半で122,100円集まりました！本当にありがとうございます。基金の使途は、ナウンヤーサイ村かメインタク村どちらかの小学校になる予定です。2009年1月に私がこの基金を現地へ持っていくしますので、詳しいご報告は追って差し上げたいと思います。現地の子どもたちは、まだまだ十分な教育環境にあるとは言えません。どうぞ今後とも、基金へのご協力をお願い申し上げます。（畑 恵子）

「サワディー・ピー・マイ(新年おめでとうございます。)」



皆さま、明けましておめでとうございます。昨年十二月中旬に、二〇〇八年度里親の皆さまへ無事に里子たちのプロフィールをお届けすることが出来ました。毎年、奨学生に選ばれる子どもたちは、厳しい家庭環境で生活する子どもたちばかりです。今年度、新しく奨学生になったある中学生の女の子の家族には、三人の子どもがいますが、両親は、彼女の姉とその女の子と弟の三人を同時に学校に通わせることが経済的に厳しく、彼女のお姉さんは通っていた専門大学を中退し働くようになったそうです。その女の子は、将来は学校の先生になりたいと願っています。また、他にも多くの子ども達が、もっとたくさん勉強して将来良い仕事に就き、いざ自分の家族や両親の助けになるようになりたいと願っています。担当の私も、里親のみなさまのお気持ちやご支援をお届けするお手伝いをさせていただきながら、この奨学金が、一人でも多くの子ども達にとって夢を叶える一助となることを願ってやみません。里親のみなさま、今後ともどうぞ里子たちを温かくお見守りください。

★タイ豆知識★

タイでは年に3回お正月がある!?

1. 新年

(1月1日 プラペニー・カーンタムブン・ワン・クン・ピーマイ)
本来ならば、タイのお正月は仏暦のため4月でしたが、諸外国の慣習に合わせて、年末から1月1日にかけてもお祝いをするようになりました。この時期には、タイの人々はタンブンという徳を積む行いをしたり、家族などで和やかにすごします。年末から、クリスマスや新年祝いのカードを送り合うこともあります。

2. 中国正月

(2月初旬 ワン・トゥツ・チーン)
主にタイに住む中華系の人たちが祝う正月です。チャイナタウンなどで、特に盛り上がります。中国の人々にとって縁起がいいとされている派手な色(特に赤色)のものが、人々の服装や街で見られるようになります。

3. タイ正月

(4月13日～15日 プラペニー・タムブン・ワン・ソングクラーン)
日本でソングクラーンとして有名な、水掛け祭りが行われる時期です。元々は仏像を水で清め、また年長者や僧侶へ尊敬の意味を込めて水を掛けるという行事です。近年では、水掛け祭りへと変化しています。特にバンコクやチェンマイでは、観光客を巻き込んだ激しい水掛け合戦が行われています。

タイの学期は日本と違う!?

タイの学校では2学期制が採用されています。また、時期も少しずつれていて、多くの学校では、1学期は5月中旬から9月下旬までで10月が学期休みとなり、2学期が11月上旬から3月中旬まで、その後の暑期にあたる3月下旬から5月上旬までが学期休み(夏休み)となっています。



バイシースクアン
相手の幸せと厄除けを祈りながら綿のヒモを手首に巻いてあげる習慣。



ソングクラーン
タイの水掛け祭り。
子どもも楽しみにしています!

今回の奨学金だよりでは、2008年度新奨学生の一人、中学一年生の Miss. La-ongdaow Tiamtanong(ラオンダウさん)について、現地の担当の先生であるスラポン氏からの報告をご紹介します。

『ラオンダウさんの家庭には2人の子どもがいて、彼女は2番目の子どもです。彼女には17歳のお姉さんがいて、今はバンコクで働いています。彼女は父方の祖母と一緒に暮らし、父親はサムイ島に、そして母親はハートヤイという町に住んでいます。父親は賃金労働に従事し、母親は再婚しています。現在は、彼女の父親の弟であるおじさんが、彼女たちのためにお金を送ってくれています。』

彼女は将来は、看護師になりたいと思っています。その第1の理由は、彼女の父親が肝臓の病気を患っているからです。そして、第2の理由は、家族を支えるために安定した収入を得たいと思っているからです。

クーキャオ校で勉強するのはとても便がよく、また生活にかかる費用もそれほど高くはありません。しかしながら、彼女が奨学金を受けなければ、たとえ街にもっとたくさんの施設があっても、先生や友人達が彼女にどんなに親切でも彼女は学校に通うことは出来なかったでしょう。

最後に、ラオンダウさんから、さとおやさんへメッセージを送ります。

私のさとおやさんへ：ここ、クーキャオウィッタヤ校においての勉強を支援していただき、本当に本当にありがとうございます。ここには、もっと多くの生徒たちが、みなさんのような心優しい方々の支援を必要としています。私は、勉強をもっともっと頑張りたいと思っています。どうか、ご健康にお気をつけください。そして、御仏のご加護がありますように。新年おめでとうございます。

佐賀県協力隊を育てる会が地球市民の会から巣立ちました

青年海外協力隊の設立に関して大きな役割を果たされたのが故末次一郎先生でした。その最後の弟子である故古賀前会長が、1987年以来佐賀の地に佐賀県協力隊を育てる会を地球市民の会の内部組織として、国際協力に関わる若者を支援しようと活動を行ってきました。しかし、当会の活動の範囲が広がる一方で、協力隊を育てる会の役割は重要度を増し、このたび、その活動を活性化させるために、会を分離独立させ再組織化することになりました。そして、去る平成20年12月6日、佐賀市内にある若楠会館にて「佐賀県協力隊を育てる会設立総会」が行われました。当日は70名を超える方が設立を祝ってくださいました。古川康佐賀県知事と佐賀県議会議長の石丸博氏に特別顧問としてご就任いただき、小原嘉文氏を会長として新たな役員と定款が承認されました。総会の中では、地球市民の会が中国に青年海外協力隊の野球隊員として派遣されている岩永清邦さんに中古野球用品の支援をしたケースなど、隊員と当会とのネットワークを使って現地支援ができた例が報告され、多くの方の共感を得ることができました。

第2部では、「協力隊今昔物語ー佐賀青年、世界に羽ばたくー」と題して、元ケニア、ペルー大使の社協力隊を育てる会 副会長 青木盛久氏による記念講演が行われました。青木大使は、国際協力事業団青年海外協力隊事務局長も務めたため、青年海外協力隊への想いも深く持っておられ、佐賀県出身の隊員の話を変えながら協力隊の意義等のお話をしてくださいました。その後に行われた懇親会では、協力隊OB・OGを中心とした和やかな雰囲気の中、新たな組織の旅立ちを心より祝い、会の今後の発展を祈念して散会となりました。

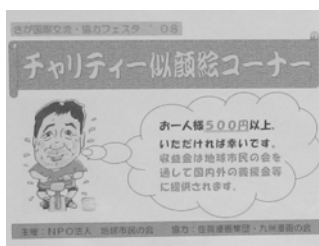


満席の会場での、青木大使の佐賀の青年についての講演会模様

さが国際交流・協力フェスタに参加しました☆

去る2008年11月24日（月・祝日）に、財佐賀県国際交流協会が主催する「さが国際交流・協力フェスタ」に、私たち、地球市民の会も参加してきました。このイベントは、県内を中心に、国際交流・協力活動を行っている35の団体が参加し、各団体が様々な企画出展を行いました。

今年は、私たちTPAのコーナーに佐賀漫画家集団の井上信宏氏（地球市民の会会員）と団員の方、総勢5名が駆けつけてくださり、チャリティー似顔絵コーナーが設置されました。似顔絵コーナーでは約50名ものお客さまで賑わい、佐賀漫画家集団の皆さんには、休む間もなく筆を走らせていただきました。また、似顔絵コーナー以外にも、私たちの活動内容を紹介する写真やパネル、そして現地の生活文化に触れていただくために、ミャンマーコーヒーやミャンマーティーの試飲コーナーも設けました。毎年参加させていただいている国際交流・協力フェスタですが、他の団体の活動も見聞きでき、有意義な一日となりました。何より思い出深かったのは、佐賀にやって来ている様々な国の留学生の皆さんが振袖や袴を着て、日本人の参加者の皆さんと楽しそうにおしゃべりしている風景でした。私たちTPAも、「知っていただく」と同時に、「楽しんでいただける」ものを提供していかなければ！と身の引き締まる思いになりました。



中国に青年海外協力隊野球隊員として派遣されている岩永清邦氏に 中古野球用品の支援をしました

地球市民の会東京の会長、有澤正典氏の会社は東京の軟式野球のリーグに所属しています。先般、リーグ内で野球用品の不要品があるが途上国で役立つのではないかという話が出ました。そこで当会に相談があり、ネットワークで要望先を探したところ、佐賀県鹿島市から中国に青年海外協力隊の野球隊員として派遣されている 岩永清邦氏から要望があり、郵送することとしました。

岩永氏は2007年3月～2009年3月まで中国河南省新郷市体育運動学校に野球のコーチとして派遣されています。目的は、野球チームの選手のレベルアップ、また河南省には国から支援をうけているアマチュアのチームがありますが、そこに選手を育て送ることです。

中国の体育運動学校というのは日本では馴染みのないものですが、スポーツ専門をおこなっている学校です。各スポーツの種目は野球をはじめ、サッカー、バレー、陸上など、10種目以上あります。ただ午前中は日本と同じように国語や、英語などの科目もあります。そして午後からは練習をおこないます。練習は毎日朝練と昼は2時半から行っています。現在部員は、野球部員13名、女子ソフトボール部員7名います。

環境は整っているようですが、赴任当初からずっと道具不足に悩んでいました。硬式ボールはあるのですが、不足分を補うため、新聞紙を丸めて使っています。ベースは玄関マットを切って使っています。グラウンドも内野は草木を切ってグラウンドらしいものを作りましたが、外野の方は木が生えていて外野ノックなど危なくてできません。試合も年に1回しか大会がなく、試合経験不足にも悩まされています。ユニフォームは試合で着るもののみで、練習用のユニフォームは持っていない子も多く、冬は防寒用の練習着を持っていませんので、普段着の洋服を着て練習をしています。ですから、もっと道具があれば、効率のよい練習ができるはずだと岩永氏は思っていました。そこに今回の話が岩永氏に届いたわけですから大変うれしかったということです。

地球市民の会東京が物資を集め、郵送料9万円を負担し、中国に道具を送りました。平成20年11月7日、野球道具は無事岩永氏のもとに届きました。たくさんの野球道具に学校の子供たちも岩永氏の同僚も興奮気味で、大変喜んでいました。

今回はユニフォーム類が多かったのですが、一人1着、もしくは2着しかもっていないので、汚れても洗濯ができなかったのですが、今回汗をかいたら着替えることができるようになりました。

佐賀から派遣された青年海外協力隊隊員を佐賀にある地球市民の会がそのネットワークを使い支援できたことは大変うれしい出来事でした。それと共に、地球市民の会東京の皆様のご努力に心から御礼申し上げます。



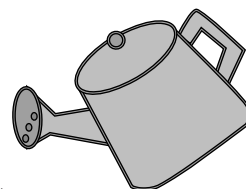
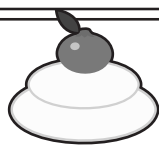
素敵な笑顔の学生たち。支援を有難う



新聞紙を丸めて作ったボール、充分ではない備品



謹賀新年

自分育てが
育自（児）

間違っているところは
復習する！
疑問や納得できないことは、
目と目を見て、話す。

人に迷惑をかける
ようなことはしない。
勉強は出来なくても
いいけど、最低限の
ことはしよう

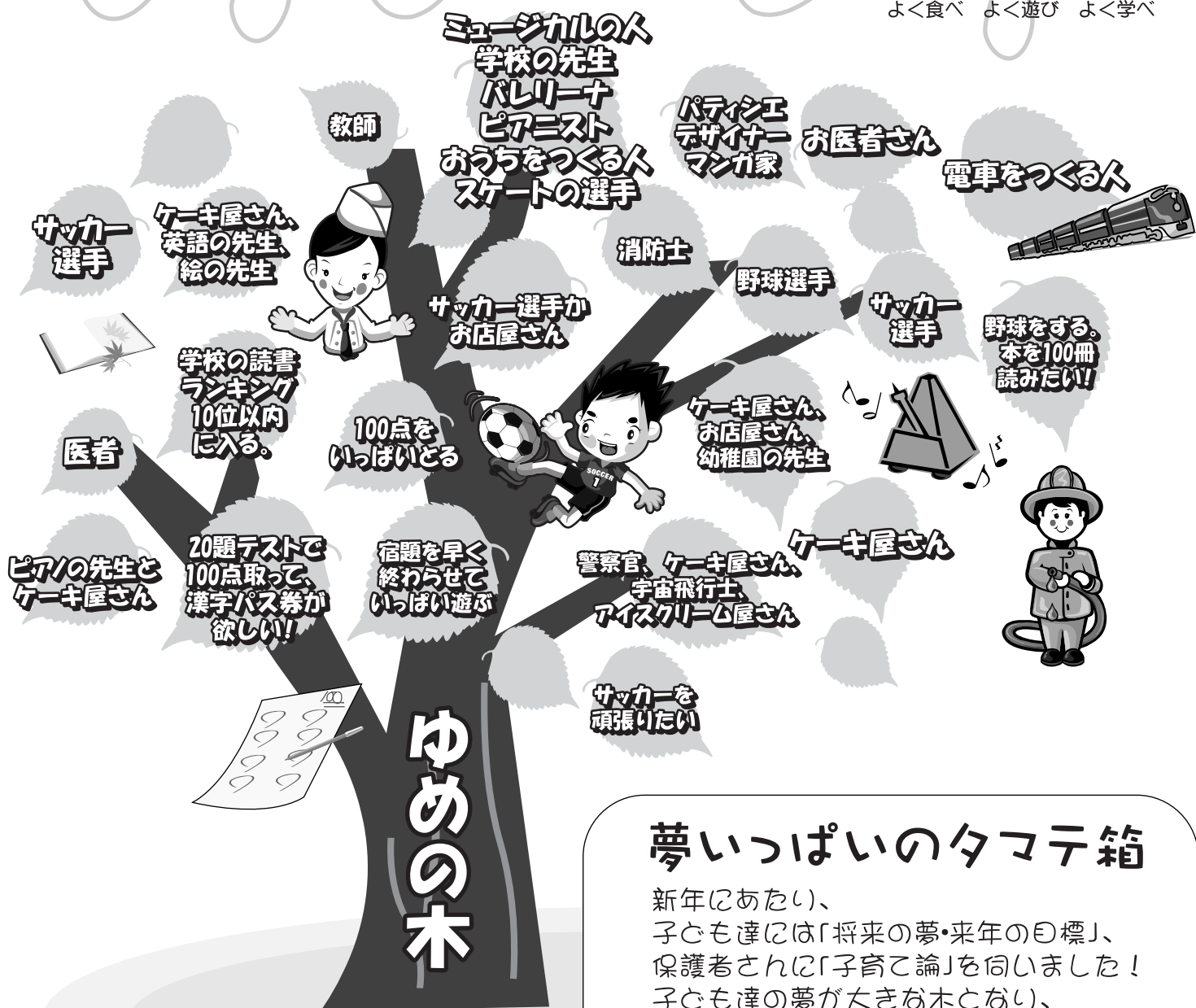
子どもの能力を信じる
子どもが好きな事を認め、
枝葉をつけていく力を育てる。

子は親を見て育つ、
親も子を見て育つ！
お互いに教え、教えられ
成長していきたい。

子どもの可能性は無限大！
親としてやってあげたい事を
精一杯務めさせていただきます。

低学年の我子には、
学校を楽しんで
通ってもらいたい。
まずはそこから…

よく食べ よく遊び よく学べ



夢いっぱいのだまて箱

新年にあたり、
子ども達には「将来の夢・来年の目標」、
保護者さんには「子育て論」を伺いました！
子ども達の夢が大きな木となり、
花を咲かせまわよう…

謹賀新年の題字は、夢の学校タマテ箱の
原田あかねさんです。

「夢の学校への思い」⑥

じょうぶな頭とかしこい体 になるために

理事

草場 栄美

このタイトルは、五味太郎さんの素敵な本の書名です。私の子育ての座右の銘でもあり、こうなるように、子どもたちを古賀先生のもとへ通わせたのでした。

逆の「かしこい頭とじょうぶな体」をつくるための訓練方法は、世の中にたくさんあります。その方法で育つと「大人の言うことを素直に聞き、決められたことはきちんと守り、出された問題にうまく答え、与えられた仕事はだまっでやる」子どもになります。こういう子どもは大人から見ると、安心できるようです。きれいな花を咲かせているからです。しかし現場で見ていると、実は「大人の指示を待ち、決まりがないと守らず、出された問題だけ解き、評価に関係すれば仕事をする」のです。いろいろな場面で根っこがうまく育っていない子どもが多いと感じることが増えました。

夢の学校は、人間としての「根っこ」をつくるころだと思っています。考えたり、悩んだり、迷ったり、求めたりする力をつけるところ。日常のささやかな出来事のなかにある素晴らしさに気づくところ。かけがえのない自分を発見し、自分を育てるところ。人に与えるときには自分が与えられているとわかるころ。大切なことが大切にされるころ。

根を張っている間は表からは見えないけれど、花が咲いたとき「大人の言うことの意味を考え、自分に必要な問題を探して解き、必要であれば決まりを作り、楽しく課題を実行する」子どもになっています。

知識を重ねるだけで置き去りにされてきた「心の勉強」夢の学校でのいろいろな出会いや経験が、豊かな心の育ちを後押ししてくれると信じます。

「私の考える教育とは？」⑥

今こそ自己肯定感を 高める教育を！

日本折り紙ヒコーキ協会
九州支部長

井上 英史



一枚の紙に折を加えることで20秒以上も飛ぶ折り紙ヒコーキ。私が折り紙ヒコーキの魅力にハマったのはもう10年以上も前のこと。日本折り紙ヒコーキ協会の戸田拓夫会長を佐賀にお迎えしたことがきっかけでした。この出会いが私の人生を大きく変えました。折り紙ヒコーキの魅力に魅せられたというより、戸田拓夫という人物に惹かれたと言った方が正しいかもしれません。会長は当時から折り紙ヒコーキの滞空時間の世界記録保持者であり、世界中で折り紙ヒコーキの魅力を広める活動をされていました。2回目の来佐の際、新聞の取材を受ける会長の横で私もインタビューに耳を傾けていました。「何でもいいから、これだけは1番というものを持つことが、自信になり、生きる糧につながる。」そう熱っぽく語る会長の横顔に、私は教育の1つの原点を見出したような気がしました。

私の本業は、中学校の教員です。学校にはじつに様々な個性を持つ子どもたちがいます。思春期の真っ只中におかれ、何らかの理由で心が不安定になってしまう子どもたちもいます。その子どもたちの多くに共通していることは、自分自身に自信が持てていないことです。そのため、自己表現が苦手になり、非行に走ったり、不登校になったりすることが多いのではないのでしょうか。このような子どもたちに接する時、ふと、あのときの会長の横顔が浮かんできます。私は早速行動に移しました。問題を抱えている子どもの良いところを探し出し、それを伸ばす手助けをすることで、その子どもは自分に自信が持て、次第に表情に変化が表れてくるのです。いつの間にか本人が抱えている大問題は些細な問題となり、気づけば道が開けていました。時間はかかりますが、必ず解決するという信念で根気よく手助けをすること、それこそがいつしか私の教育の基本となりました。今では自己肯定感を高めさせるため、様々な体験活動を創造し、一人一人の出番を増やす取り組みを始めています。

ご支援ありがとうございます

ご協賛

牛山佳子、OMO 未来の貯金箱、下河辺和人、田久保克明、トネリコカフェ（松尾）、富山佳織、中尾裕明、中島嶺雄、中野武志、東内順子、藤澤文洋、森田次男、福井しのぶ、匿名

※大変失礼ですが、敬称は省略させていただいております。

（順不同、11月末まで）

夢!情熱!感動!

OB, OG, 卒業生は宝物です vol.5

古賀道場「ようこそ先輩シリーズ」第5弾

前回の松尾君のエピソードで、いつものお正月より沢山おもちを食べた子ども達も多かったのではないのでしょうか・・・(^-^)

今回は、今や2人のお子さんの優しいお母さんになられた武夫先生のマドンナ！
櫻井愛子さん（お名前も美しい!!）の登場です。



中3の時、高松宮杯全国大会(東京)にて。この時の武夫先生、まだなんと30代前半!!

中学、高校時代、古賀英語道場で大変お世話になりました。それから早二十年・・・現在私は七歳と二歳の子育て真最中の専業主婦です。

古賀先生に最後にお会いしたとき「愛子ちゃんは専業主婦ね？」と聞かれ、「偉いと思う、今はそれが一番いい」とおっしゃってくださいました。古賀先生の教えを受けたにも拘らず、「武道と語学で世界に雄飛！」とは程遠い生活をしている私は、少なからずそのことを後ろめたく思っていました。ですから、先生の言葉は意外で、けれどもとても嬉しく、ありがたい一言でした。

道場での英語の指導は厳しく、弱音を吐くことは許されない雰囲気でした。先生手作りの英作文テストでは、正解するまで帰れませんでした。スピーチの練習は、先生との正に真剣勝負でした。そして英語の指導と同じくらいの情熱で、現在の「夢の学校」へとつながる先生の思いを私たち生徒にいつもいつもお話しになっていました。小二の息子は最近流行のゲーム機を欲しがっていた時期がありました。私は息子に言いました。「こ

いのちのまつりのように

櫻井 愛子

れと同じお金で一年間学校に通える子どもがたくさんいる国があるの。そんな高価なものを子どもが持つのは、ママは反対！」と。けれどそのゲーム機の普及率はかなり高く、持っていないお友達を探す方が難しいくらいです。どうしてこんなにも簡単に、日本の大人は子どもにモノを与えてしまうのでしょうか。目先の快適さや便利さを優先の風潮に対して「一回死なんば治らん」と、おっしゃっていたことが思い出されます。

その息子が最近「なんで国ってあるんだろう?」「英語人(母国語が英語の人の意)ってずるくない?」「お金なんてなかったらいいのに」と言い出しました。私は内心「いい調子!」と喜んでいました。

古賀先生の思いは、確実に、道場で育った生徒からまたその子ども達へ「いのちのまつり」のように届いています。二十年前に受けた先生の教えは、今、私に、親としてどう振る舞うべきかを示してくれています。

子育て中の皆さん、古賀先生も応援してくれています。がんばりましょう!



櫻井 愛子 (さくらいあいこ 旧姓山本) 古賀英語道場第三期生

佐賀西高 早稲田大学卒。中～高校と英語道場で学ぶ。中学3年生の時、英語の高松宮杯佐賀県大会優勝。大学在学中、ESSに所属し活動するも、古賀先生の「まだしょっとね」の一言で引退。第38回全国植樹祭(佐賀県開催)大会歌「みんなで緑を」、佐賀市市制100周年記念歌「さがのうた」、そして「夢の学校」の校歌作曲と、曲作りにも才能を発揮されておられる愛子さんです。

(現在は、ご家族で兵庫県三田市にお住まい)

協力者一覧

地球市民の会 10～11月のご支援の皆様!!(本当に有難うございます)

正 会 員

中島康子
川松広栄
北原壽豊
古川昌宏
永倉遵五郎
野口翔平
本村満江
堤加奈子
牧瀬弓子
徳光清孝
福井丈一郎
古賀智津子
北島雅治
特活) コミネット協会
中村豊久
竹山みやこ
八田康博
坂井善徳
久保正敏
藤雅仁
宮地晋工
古賀洋子
古賀友大
井上信宏
福井丈一郎

学 生 会 員

樋口七菜
片山ゆう子
古賀慈猛

維 持 会 員

小林敏孝
古賀洋子

団 体 会 員

特活) チャリティー
プラットフォーム

購 読 会 員

重永哲郎

タイ クーキャオ中学

阿部博
阿部礼子
伊豆哲也
井手淑子
梅崎光行
江頭泰子
江口静子
江口典子
円城寺久好
大島佐江子
香月富士雄
蒲生正裕
紀伊保男
倉富博美
小園拓馬
佐藤隆之
佐藤正敏
式町伸子
重松孝信
末次摂子
杉光省五
杉本奈巳
高野たずこ
高柳俊光
田久保克明
田中信博
徳永千恵

中島文子
中園めぐみ
永田康子
中村豊久
南里玲子
納江幸利
野口智代
秦智美
馬場龍之介
樋口靖子
平野京子
深川明子
福井丈一郎
福岡ミチヨ
福本淑子
藤雅仁
堀和枝
前田綾子
眞崎綾子
松瀬直美
松谷清志
的野直喜
武藤鼓
村崎和子
山下雄司
吉井学
吉田純子

タイ ポーゲウ校

石川祥子
岡田孝子
北原壽豊
古賀信子
小園拓馬
堤堯子

堤輝夫
中村豊久
西村賢二
納江幸利
原田典子
平岩佳名子
福井丈一郎
福田文子
寶泉正美
眞崎健次郎
松尾成子
松瀬直美
松林久美子
豆田美穂子
宮嶋トミエ
本村美佐子
山下陽子
山田房子
吉田純子
龍千秋

タイ クーキャオ高校

梅崎美佐子
江頭泰子
江口静子
円城寺久好
大久保良子
北村尚道
古賀大之
古賀信子
尊田百合子
高野たずこ
多良淳二
匿名
中野美知恵

納江幸利
野口恒治
萩原喜代子
林口多江子
松枝和代
松尾由美子
松林久美子
的野直喜
森田由香
八坂信雄
吉岡まつえ

スリランカシヨダヤ奨学金

牛草英蔵

切手・書き損じハガキ

堤堯子
中尾共子
紀伊保男
龍千秋
匿名
石塚雅子
三原佳代子
坂井(上野) 知子
御厨初美
眞崎綾子
佐賀県立総合看護学院生
の皆様
東京海上日動火災保険
(株)佐賀支店
藤原克子

寄 付

中尾共子

特定非営利活動法人海外教育推進協力機構よりミャンマーのタンボジ青年寮の子どもたちへ多大なご寄付をいただきました。

2008年3～5月の会費、6～9月の奨学会費について、記載漏れの方々のご氏名です。

前々号で記載できておりませんでしたこと、深くお詫び申し上げます。

2008年3～5月会費記載漏れ

弥富陽子
小松敏正
坂井邦夫
坂井善徳
佐野真里子
田中進
多良淳二
近田真知子
千布浩行
堤加奈子
土井眞信
徳光清孝
永倉遵五郎

長澤京子
中村元
納富ハヤ子
野口翔平
平野喜幸
福井丈一郎
藤雅仁
古川昌宏
馬郡有子
松尾大輔
松尾隆弘
松尾隼雄
牧瀬弓子

的野生子
峯田洋子
宮地大治
諸井政司
本村満江
山口ひろみ
杠好秋
横山眞為子
吉井英隆
吉田敏子
吉村洋祐
平井幸香

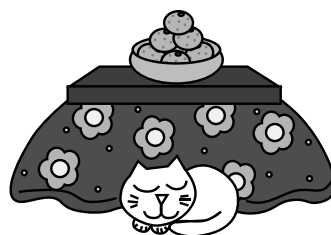
2008年6～9月奨学会費記載漏れ

クーキャオ中学校

川原田勝子
稲富正人
梅崎光行
岩永公代
原口洋一
土井敏弘
栗林正則

クーキャオ高校

平岡修二
古賀大之



※順不同で掲載させていただいております。

※大変失礼ですが、敬称は省略させていただいております。いつも本当にありがとうございます!!

1～3月のお知らせ

●は地球市民の会、♥は古賀道場
★は夢の学校の行事です

●ワークショップセミナー

平成20年度九州・沖縄ブロック環境NGO活動発展のための組織運営講座
『組織力アップで地域をひらく!』～資金調達と協働を身に付ける～

1月23(金)・24(土) 場所:佐賀市 アイスクエアビル 時間:10:00～
別紙チラシをご参照ください。

●地球市民の会25周年記念事業

「人間の持つべき文明2008」

2月8日(日) 場所:ホテルニューオータニ佐賀 時間:14:00～
基調講演(上甲晃先生)、パネルディスカッション(上甲晃先生、マリ・クリスティーンさん、
佐藤昭二地球市民の会会長)、記念パーティー
別紙チラシをご参照ください!

●地球市民文化祭(仮称)

3月7.8日(土、日) 場所:アバンセ
アバンセを全館借り上げて、体験型学習の文化祭を開催します! 詳細次号、乞うお楽しみに!

●春休みスタディツアー開催予定!

近日中ホームページでお知らせします。(http://tpa.nk-i.net)

♥「いのちのまつり」オリジナルソングCD完成発表披露

2月8日
古賀武夫先生の最後の希望だったミュージカル「ヌチヌグスージ～いのちのまつり」の主題歌「いのちのまつりのうた」のCD化を
とうとう実現しました。
『お父さん、お母さん、ぼくが、わたしが、今ここにいる、これって本当はすごいこと?』と問いかけるところからはじまるこの歌。
佐賀から全国、そして世界と広がってほしい名曲です。



♥和道流佐賀県選手権大会

2月15日 場所:循環体育館
通称「道場大会」。
親子で団体戦も!! 是非見学にお越し下さい。

♥第29回英語かるた大会

3月20日 場所:地球平和道場
子どもたちが英語のことわざをマスターしての
カルタでの勝負、勝負!



★週末親子プログラム③自然体験

2月
カワモズク採り

★夢の学校同窓会

3月
週末親子プログラム③食・いのち
収穫大豆で豆腐づくり

スタッフの
ひとこと

今年こそ

毎年、年の初めに今年こそこれをする!なんてことを考えますが、毎年毎年できたためしがありません。そこでどうせこうも無責任なら、目一杯無責任に、みんなが喜ぶであろう今年の出来事を予言してみます。あたかも八卦、あたかも八卦!

地球市民の会

- 大野 博之** 定額給付金をもらった国民の皆様は、「どうせ、もらったって貯金するだけ!」ならば、地球市民の会に基金として預けるぞ〜と寄付をしたくなり、みんな幸せで嬉しい気持ちになり、世界がまた一步平和に近づきます!
- 畑 恵子** フェアトレード、コミュニティトレード、チャリティトレードのTPAショップができます! ただの買い物→社会貢献にもなる買い物へ、世の中は動いていきます。それ、先駆けだ!!!
- 内山真理子** 地球環境の取り組みとして、「エコ活動」の次は「農業」が来ます。これで日本の食糧自給率が上がるだけでなく、食糧輸送におけるCO₂排出量も減り地球温暖化への歯止めになるでしょう。
- 西村 尚子** とりたてて何も頭にうかばない。
何もおこらないことが、ほんとうはとっても幸せなのかも。普通が1番!!
- 納富ハヤ子** 大予言! みんなが幸せになる! だけど、それは自分自身が素敵な笑顔になり、新しい出会いを重ねていくことで可能になると思います。本当は、私がそうしたいって思っています♥

古賀英語道場・空手道場

- 古賀 洋子** 古賀武夫先生との霊界通信がオープンバンドとなり、誰でもがアクセスできるようになる。思い出した山ほどある訊きたいことは、いつでも訊くことができます。しかし、古賀先生の機嫌が良いときだけです。お酒は残念ながら一緒に飲めません。
- 山下 春美** アメリカは「CHANGE」でオバマさんが大統領になったように、日本では「CHANGE」というドラマに主演したキムタクが総理になります。日本はバ〜ツと明るくなるでしょう。
- 古賀 大之** 我が家の大型家電製品が軒並み10年を超え、テレビがあゝ冷蔵庫があゝ。しかし大丈夫、より小さなテレビ、小さな冷蔵庫が発売され、家庭の負担が小さくなるでしょう。
- 青柳 達也** さらに「エコ」に地球市民全員は力を注ぎ、マイバッグ、マイ箸が普通になるでしょう。そして、「就農者」が増えるでしょう。また、ハイブリッドカーが150万円で買えるようになります。私が買います。
- 吉村 薫** ノストラダムスの大予言、そんな予言がありました。しかし、とうとう当たらなかったよね。宝くじを買っても当たらない。私の予言も当たらない! でも、もし宝くじが当たったら夢の学校の校舎を建てるぞ!
- 相良 伸武** 経済の低迷等により、地球全体が暗く落ち込み、苦勞が多い年になるが、その中から本当に大切なものか何かを気付くことができます。そして新しい意識のなかで「夢の学校」も苦勞を乗り越え飛躍するぞお〜!
- 秦 智美** 食の安全がもっともっと取りざたされ、食品の透明化が進み、体に悪いものは出回らなくなり、みんな安心してご飯を食べることができ、私も安心して大食い道を突き進むことができるようになります。

地球市民ネットワーク

- 北海道地球市民の会
〒061-3214 北海道石狩市花川北4条2-197
会長/阿部功 事務局/新保知博
TEL・FAX: 0133-74-1296
- 地球市民の会ふくしま
〒963-8681 福島県郡山市喜久田町1丁目120-1
(株)石黒
会長/事務局担当 石黒秀司
TEL: 024-959-6426
FAX: 024-959-6577
- 地球市民の会東京
〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-2-13
会長/有澤正典 事務局/佐藤敏行
TEL: 03-3662-0331
FAX: 03-3662-0400
E-Mail: arisawa@mun.co.jp
- 地球市民ACTかながわ
〒231-0821 神奈川県横浜市中区本牧原3-1-203
会長/近田真知子 事務局/伊吾田善行
TEL・FAX: 045-622-9661
E-Mail: port@tpak.org
- 地球市民の会さる
〒501-6241 岐阜県羽島市竹鼻579-1
竹花園内
会長/森幹治 事務局/平井八重子
TEL: 058-391-5415
FAX: 058-391-8600
- 地球市民みえの会
〒514-0027 三重県津市大門7-15津センターバース3F
津市市民活動センター内
会長/伊藤洋之 事務局/秋幸信
TEL: 059-226-5700
FAX: 059-224-8911
E-Mail: mitemiemie21@hotmail.com
- 地球市民の会京都
〒605-0873 京都市東山区下島町484
会長/宮川尚子 事務局/西田一貴
- 神戸戸有頂天倶楽部
〒657-0045 神戸市灘区下河原通り3丁目4-3
会長/松元隆司 事務局/大西陽治
- 愛媛地球市民の会
〒790-1121 愛媛県松山市中野町甲640
はばたき授産圏内
会長/篠崎和夫 事務局/丹生谷宗久
TEL: 089-963-3772
FAX: 089-963-3795
- 北九州地球市民の会
〒802-0006 福岡県北九州市小倉北区魚町1-5-14
中央会館2F
会長/河野一郎 事務局/大山研児
TEL: 093-521-8181
FAX: 093-551-2296
- 地球市民の会福岡
〒814-0164 福岡県福岡市早良区賀茂2丁目30-4
(株)増屋内
会長/増田誠司 事務局/西村和寿
TEL: 092-801-5888
FAX: 092-801-5789
- (特活) コミネット協会
〒861-0039 熊本市長嶺南2丁目5-31
理事長/山口久臣 事務局/富田、田中
TEL・FAX: 096-387-7139
- 古賀英語・空手道場
〒840-0822 佐賀県佐賀市高木町3-10
TEL: 0952-25-2295
FAX: 0952-26-4922
- 夢の学校をつくる会
〒840-0822 佐賀県佐賀市高木町3-10
TEL: 0952-22-6262
FAX: 0952-26-4922

ネットワーク・テラ 秋号 VOL.133

発行/
特定非営利活動法人 地球市民の会
〒840-0822
佐賀県佐賀市高木町3-10
ホームページ: http://tpa.nk-i.net
E-mail: office@tpa.nk-i.net
TEL: 0952-24-3334
FAX: 0952-24-7321
発行日/2009年1月23日
発行人/佐藤昭二
編集人/地球市民の会 事務局
印刷/株サガプリンティング